

大統領府、気候変動に強い農作業促進のための新たな取組みを発表（10月26日）

大統領府は10月26日、全米における気候変動に強い農作業促進のための新たな取組みを発表した。具体的な取組みは以下の通り。

・農務省（Department of Agriculture）が、1,100件以上の再生可能エネルギー・省エネプロジェクトに対し、1億200万ドル超の融資を保証すると共に、「米国のための農村エネルギー・プログラム（Rural Energy for America Program : REAP）」を通して7,100万ドルを助成。
・農務省による気候変動脆弱性評価（Climate Vulnerability Assessment）が、8地域において利用可能。

また、大統領府は、温室効果ガス排出削減のための努力、環境条件の向上、及び、地域経済成長への貢献などを通して、米国の農業サプライチェーンのサステナビリティ向上を目的とする取組みを実践した主導者12人を、「大統領府サステナブル且つ気候変動に強い農業のための変更チャンピオン（White House Champion of Change for Sustainable and Climate-Smart Agriculture）」として表彰した。

The White House, FACT SHEET: Obama Administration Announces New Efforts to Promote Sustainable and Climate-Smart Agriculture
<https://www.whitehouse.gov/the-press-office/2015/10/26/fact-sheet-obama-administration-announces-new-efforts-promote>